

① スクラップ・アンド・ビルドよりも、ストック・アンド・ビルドで行け Scrap and Build

【開運勝機】馬のいばり、つてご存じか。

馬のうんちのことだ。

馬車馬が痩せた身体をせいといっぱいふんばって、荷車をひっぱる。そのはずみに、馬はよく、巨大なあんパンみたいな糞をどう、とほとばしらせる。

戦後、日本の道路はいたるところ、このいばりだらけだった。

道は舗装してない。馬糞だらけ。学校はガラスが破れ放題で寒風がびゅうびゅう。そんな中で復員したばかりの元兵隊の教師にまいにち

ピンタをくらって勉強した私などは、子供心にほとほと日本人の低劣さに愛想を尽かしていた。俺は東京に出て勉強し、少しは知的に生きたいと、しんそこ、思った。アメリカ生
活が夢だった。

ところが上京して大学を出てみると、他業種のなかで、自分ぐらいの業績をもってる奴
なんか、ごまんといえることに気づく。大学でアメリカ文学を修めるなど、こんなもん、大
したことはないのだ。そう思つて、絶望。その果てに今までの業績を放り投げたことが
あった。

が、しばらくして気づいた。同級生の友人たちが、みな、大学時代の専攻と別種の仕事

で悪戦苦闘している。やはり自分の持ち場は、今までの業績なのだ。

それに文学研究つて、けつこうおもしろいじゃないか。

そう気づいてゼロからやり出したのは、まだ20歳代後半だったからよかつた。親にカ
ネを出してもらつて修めた英語英米文学の業績はいわば金の塊だった。それを自分からぶ
ん投げたのは、愚か千万。と気づくやとつて返したら、その金のインゴットは馬のいばり
の中で埋もれている感があつた。むちゅうで拾い上げ、水道の水でじゃぶじゃぶ洗つて、
ゼロから出直そうと心に誓つた日のことは、いまでも明確におぼえている。

英米文学などは作家稼業にどれだけ役だったかは未知数だ。しかし生きていく上では、
金のインゴットだった。そいつをぴかぴかに磨いたら、大学業界では結構通用したから、
おもしろい。もちろん、アメリカの大学でも講義をやつて、夢を果たした。

それから早くも半世紀。50年経つた。著作の点数も30点は超した。

読者諸君も、同じようなUターンを経験、それからのライフワークを打ち立てた人も多
かるう。そんな、試行錯誤の豊富な人にはもう助言の必要もないが、まだまだ他所の庭が
うらやましく見える人には、言つておこう。

一念発起して新企画をビルドするのは結構。

そうやって生活防衛を積極的に行うのも結構。